

第26回発達診断セミナー〈心理専門職コース〉

主催 人間発達研究所
後援 滋賀県（依頼中）
大津市（依頼中）

発達診断セミナーは、心理専門職が発達診断・発達相談や関連する諸科学について系統的に学ぶセミナーです。今回の第Ⅳシリーズでは、発達診断が、子どもや障害のある人たちの発達や教育にどのように寄与していけばいいのかを学ぶことに合わせ、厳しさを増す情勢の中で、心理職として果たすべき役割について考える機会になることをねがい、企画をしました。

今回のテーマである1歳半に向かう時期は、乳児期前半と後半につづく生後第3の発達の階層（「次元可逆操作」の階層）が始まります。1歳前半に1次元を形成し、1歳半ばの1次元可逆操作を獲得していくようすに焦点をあてながら、新しい諸機能の獲得や自我の誕生について学び合います。また、近年このセミナーが、これまで発達診断や発達相談の確立のために第一線で活躍されてきた世代と、新しく心理専門職として歩み始める若い世代の交流の場となってきました。歴史や新しい知見に学びながら、この時期における発達や障害を中心に発達診断やその後の育ちを見すえた支援のあり方を探っていきたいと思います。

発達診断・発達相談に携わるみなさんのご参加をお待ちしています。

テーマ 1歳半に向かう時期の発達と障害

対象 発達診断・発達相談にかかわる専門職

日程 2013年11月2日（土）・3日（日）

会場 財団法人 滋賀県人権センター「光荘」

大津市におの浜4丁目1-14 （電話 077-522-8243）

参加費 人間発達研究所会員 10,000円

会員以外 12,000円

（資料代を含みます）

定員 120人

申込み 専用申込用紙（払込取扱票）にてお申し込みください。

締切り 10月24日（木）消印有効

問い合わせ 人間発達研究所

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘1-4-39 梅田ビル3階

TEL/FAX 077-524-9387 E-mail j-ih63su@j-ihd.com

URL <http://www.j-ihd.com/>

日程

11月2日（土）

9:30 受付開始

10:00 開会

ゼミⅠ 1歳半に向かう時期の発達と発達診断について
白石恵理子氏（滋賀大学教育学部教授）
< 12:00～13:00 昼食休憩 >

14:00

休憩

14:15

ゼミⅡ 1歳半に向かう時期の発達研究の動向と研究報告
福山寛志氏（京都大学大学院教育学研究科博士後期課程）
コメンテーター 中村隆一氏（立命館大学教授）

16:15

休憩

16:30

ゼミⅢ 子どもの豊かな育ちを支えるために
～和歌山での取り組みを通して～
船木栄子氏（社会福祉法人桃郷
児童発達支援センターつくしんぼ園園長）

18:00

18:30 交流会

11月3日（日）

9:30

ゼミⅣ 「発達保障論」が見ようとしたもの
——草創期の映像資料から学ぶ——
中村隆一氏（立命館大学応用人間科学研究科教授）

12:00

昼食・休憩

13:00

ゼミⅤ 1歳半健診における心理相談のあり方
田丸尚美氏（福山市立大学非常勤講師）

14:30 閉会

※ 講義の録音、撮影は固くお断りいたします

講義内容

ゼミⅠ 1歳半に向かう時期の発達と発達診断について

このゼミでは、1歳半に向かう時期の発達と診断について学習します。この時期は生後第2の階層となる乳児期後半の階層から、生後第3の階層である幼児期の階層への飛躍的な移行を遂げる時期です。

乳児期後半における人やモノとの関係性が、どのように幼児期への飛躍的移行につながるのか、また1歳半とはどのような特徴があるのかについて学びます。さらに、その時期に困難を抱える子どもたちの支援や指導のポイントを提起していただきます。

ゼミⅡ 1歳半に向かう時期の発達研究の動向と研究報告

発達心理学など、子どもの発達に関する研究では日々新しい知見が蓄積されていきますが、現場でそれらを知る機会は多くありません。このゼミでは、若手研究者である福山氏から、今回のセミナーのテーマである1歳半に向かう時期に関わる近年の発達研究の動向をご紹介します。さらに、講師が2011年に発達心理学研究に発表された「1歳児における叙述の指さしと他者との共有経験理解との関連」を中心に、講師自身の研究についてもご報告していただきます。

ゼミⅢ 子どもの豊かな育ちを支えるために ～和歌山での取り組みを通して～

保健師を経て、現在児童発達支援センターの園長として活躍されている船木氏より、和歌山における乳幼児健診の変遷とその後の療育・保育の場づくりの歴史をお話していただきます。障害や発達につまずきをもつ子どもたちが主人公となって生活をおくり、豊かな育ちを支えていくための保育・療育について学ぶことで、今後の実践のあり方について検討していきたいと思えます。

交流会（事前にお申し込みください）

児童福祉法の改正などにより、障害乳幼児をとりまく環境は大きく変化しています。そのような中で、自治体や施設で働く心理職として、今後どのように支援のシステムをつくっていくべきか悩むこと、他の職場ではどうしているのか聞いてみたいことなどがたくさんありませんか？そんなみなさんのために、セミナー1日目の夜に交流会を企画しました。若手・ベテランを問わず、みなさんのご参加をお待ちしております。

ゼミⅣ 「発達保障論」が見ようとしたもの——草創期の映像資料から学ぶ——

1960年代、障害を持った人たちに対しての支援の技術・方法が模索され、それとあいまって発達研究が進んできました。このゼミでは、「次元の子ども達」や「夜明け前の子ども達」といった映像のシーンを紹介・解説していただきながら、次元可逆操作獲得に困難のある人たちに対しての心について深めていきたいと考えています。

ゼミⅤ 1歳半健診における心理相談のあり方

1歳半健診は発達の節目の時期に位置しており、つまずきやもつれが現れやすく、支援を開始することが最も多い健診といえます。このゼミでは長年保健センターで心理職をされてきた田丸先生をお招きし、1歳半健診で子どもの発達をつかむために大切なポイントや視点は何か、そして支援の入り口として心理相談ではどのような姿勢が求められるのかについてお話しいたします。障害の早期発見にとどまらない、子育てを支える心理相談のあり方について学びたいと思えます。

●申込方法

- (1) 申し込みは専用申込用紙（払込取扱票）を用い、必ず一人1枚ご使用下さい。
- (2) 必要事項をご記入の上、受講料を郵便局から払い込んで下さい。交流会の参加、不参加もご記入をお願いします。現金書留での送付や、申込用紙を利用しての会費の払い込みはご遠慮下さい。
- (3) 申込み締切りは10月24日（木）消印有効です。ただし定員になり次第締め切りますので、特に出張で参加される方はゆとりを持ってお申し込みください。
- (4) 申込み手続きが完了しますと「参加証」を返送します。参加証は当日の受付に必要です。
- (5) 宿泊は斡旋いたしませんので、各自でお取りください。
- (6) 昼食は各自ご用意ください。ゴミの持ち帰りにご協力下さい。会場の近隣に飲食店もあります。ご利用の場合は余裕を持ってお出かけください。

●キャンセル

郵送かFAXで人間発達研究所までご連絡ください。ご連絡頂いたハガキ等の消印をもって次の通り処理させていただきます。

10月24日（木）まで 全額をお返しします。

10月25日（金）以降 申し訳ありませんが返金できません。

●交通のご案内

- ・JR琵琶湖線「大津駅」より路線バス「湖岸経由<石山駅>」行または「近江大橋経由<草津西口>」行乗車、「馬場1丁目」下車（220円）。「くら寿司」を左折。緑色の建物。バス停より徒歩約3分。
- ・JR琵琶湖線「膳所駅」よりは徒歩約15分（新快速は止まりません）。
- ・駐車場の確保が難しいため、お車でのお越しはご遠慮ください。

